

平成30年2月3日(土)
15時30分～

岸記念体育館
101・102号室

関東学生卓球連盟・監督会議

(H30 - 2 / 3)

議事録

出席者一覧

出席者の抜け漏れ等がありましたら、関東学連までご連絡ください

H30関東学連	チームコード	大学	氏名	代理出席	男女兼任
男子	女子				
101		明治	高山幸信		
102		専修	高宮啓		
104		早稲田	永山健一		
106	304	日本	氏田知孝		男女兼任
107		駒澤	長崎 隆志		
108	303	日本体育		笹森康平	男女兼任
109		法政	宮本勝典		
113	312	東京経済	倉持正太郎		男女兼任
117	324	東海	渡邊勝美		男女兼任
118	337	千葉商科	金子聡訓		男女兼任
123	350	東京理科	前田靖宏		男女兼任
125	342	神奈川	永峯昌夫		男女兼任
131	323	帝京	関口賢次		男女兼任
133	310	青山学院	太田秀明		男女兼任
140	352	横浜国立		川崎透	男女兼任
147	375	東京都市	丸山健司		男女兼任
150	333	成城	高橋敏明		男女兼任
152	367	芝浦工業	駒井和彦		男女兼任
	301	早稲田	櫻井茂雄		
	306	東京富士		滑川明佳	
	311	大正	池田由美子		
	314	東洋	江尻雄一		
	327	学習院	武藤元禎		
	334	東京	橋田孝志		
	348	上智	齋藤史紀		

関東学生卓球連盟	会 長	松崎 キミ代
	副会長	鈴木 一雄
	理事長	黒羽 隆二
	理 事	恒川 明久
	会 計	島田 翔太
	幹 事	小見 真
	"	西山 北大
	"	宮崎 孝一郎
	"	荒井 咲季

- 会の冒頭に、松崎会長より開会の挨拶があった。
続いて、出席者全員が自己紹介を行ない、その後、議事が進行された。

報告事項

1) 平成29年度登録状況

登録人数・登録校数の一覧表、及びグラフを基に説明。

登録人数は2,427人で昭和59年(1984年)年以来、33年ぶりの最多人数。

登録校数は159校で平成2年(1990年)年以来、27年間で最多タイ。

監督をはじめとする各校の関係各位のおかげでの登録数増であり、感謝いたします。

2) 平成29年度事業報告

平成29年度・事業日程表を基に説明。

関東学生卓球連盟は全日本大学総合卓球選手権大会・個人の部を主管。

関東学生卓球連盟は創立90周年を迎え、今年度記念事業が行われた。

3) 平成30年度事業計画(案)

1部の秋リーグが港区スポーツセンターで9/20(木)、9/21(金)で仮決定。

駒沢屋内球技場が再オープンし、予約申請してみたところ、チームカップ、

会長杯を土日で使用できることが決まり良好な結果を頂いた。

事業計画と併せて、各行事の申込受付期間が報告された。

本来は4月1日から登録年度であるところ、運営の都合上、新人戦と春リーグの申込受付は登録年度スタート前の3月末となっている。

ほとんどのチームにおいては1年生の入学前であり、申し訳ないが、4月中旬の追加登録期間を活用しての対応をお願いしたい旨の連絡があった。

4) 日本卓球協会登録システムの件

・登録には「①学生卓球連盟登録(ニ学連登録)」と「②日本卓球協会登録(ニ日卓協登録)」の2種類ある。

→2種類を両方完了させることで関東学生卓球連盟の選手としての登録対応が完了する。

・①は従来通りのやり方。(関東学連では「関東学連エントリーシステム」を使用)

・②の登録方法が平成30年度より新しくなる。

平成29年度までの日卓協登録方法

→3枚複写の登録用紙を提出し、それと交換でゼッケンが配布された。

東京所属のチームに関しては、関東学生卓球連盟が東京都卓球連盟に代わって登録事務を代行していた。

東京以外のチームに関しては、それぞれの県卓協・県卓連に複写用紙を提出し、ゼッケンを受け取っていた。

平成30年度からの日卓協登録方法

・従来の3枚複写の登録用紙は廃止される。

・日本卓球協会のホームページから会員登録システムのリンクにアクセス

→パソコン上で役員・選手登録を行う。「関東学連エントリーシステム」と似たイメージ(但し両システムに関連はない)

・2月1日より、本番稼働開始済み。

・半年前の昨夏に、テスト稼働の登録を行っていたチームは、その際の選手データなどを引き継いで活用できる。

・半年前の昨夏に、テスト稼働の登録を行っていないチーム(大多数のチーム)は、ゼロからすべて入力する必要がある。

・登録料の請求書に関しては、東京のチームは従来は①学連登録・②日卓協登録をまとめて請求していたが、平成30年度からは別々で請求される。

(②日卓協登録の登録料は、今後、学連を通らずに直接日卓協に入金されるため)

- ※ 本件の運営主体は日卓協であるため、不明点などは日卓協、またはヘルプデスクへ問い合わせの事。(学連側では、エンドユーザーである各校と同じ画面が見えないため聞かれてもわからない)
- ※ ゼッケンの配布の仕方など、運用の詳細については検討中。

5) その他

① 送別会の件

3月3日(土) 専修大学・神田校舎・1号館・15階 19時～
リーグ戦特別賞表彰(パネル授与)
出席希望者は、2/9(金)までに、メールにて関東学連まで
連絡のこと。

② 平成30年度・関東学連・技術員

3年前より、「その時点での1・2部校の主将が自動的に関東学連
技術員となる」と規約改正済み。(監督会議を経る必要なし)
後日、他の役員と共に改選し、HP等にて公表。

協議事項

【協議事項】

1) 平成30年度監督会推薦関東学連理事について(任期2年)

平成29年度監督会推薦派遣理事(12名)

大場 隆雄 (中央大女子監督)

※大場監督より平成30年度交代する旨連絡あり。

櫻井 茂雄 (早稲田大女子監督)

宮本 勝典 (法政大監督)

阿部 勝幸 (専修大監督)

古谷 修一 (慶應大監督)

池田 由美子 (大正大監督)

鄭 泰 應 (日本体育大監督)

氏田 知孝 (日本大監督)

高山 幸信 (明治大監督)

長崎 隆志 (駒沢大監督)

人見 剛 (國學院大監督)

永山 健一 (早稲田大男子監督)

この中で大場監督(中央大)が平成30年度より監督を退くため、
大場監督からの推薦で以下のような変更が提案された。

大場隆雄(旧中央大学女子監督) → 矢島淑雄(新中央大学女子監督)

この提案に対し、異議なく、監督会では承認され、理事会に推薦する
こととなった。

2) その他

本日(2/3)に行なわれた大会事業委員会によって、監督の方々の意見を聞く
項目、監督の方々にお伝えする項目が報告された。

① リーグ戦において女子1・2部の2複5単を1複6単にすることについて

・時間短縮のためと言ってるが、どれくらいの時間短縮になるのか。

・1複6単にするのと、ダブルスを1番に置く話は、セットで考えるべきで
ある。

- ・女子は部員確保が難しい。
 - ・ダブルスが入ることによって、試合が面白くなるから今のままでいいと思う。
 - ・2複5単という関東独自のものを持っていてもいいのではないかな？
→他に合わせるのではなく、関東の意思で決めるべき。
 - ・学生スポーツであり、試合を多くできる2複5単のままでいいのではないかな。
 - ・時間短縮には違う形があり、男女で同じ形にするべきである。
- 大会事業委員会として継続審議。

② 2部8校制について

→大会事業委員会として継続審議。

③ ボールの統一球について

→2月20日の平成29年度・第6回（最終）理事会、3月3日の平成30年度第1回理事会で審議し、3月21日の代議員会までには方向性を決定することとなった。

○ 鈴木一雄副会長より閉会の挨拶があり、以上をもって、監督会議を閉会した。